

在籍学級での学びにつなげる 先行学習としての 「教科と日本語の統合学習」

群馬県教育委員会 義務教育課
人権・キャリア教育推進係
指導主事 亀安 正朗



**限られた「取り出し指導」の時間
教科学習をどこまで行うのか…
もちろん全てはできない…**



**全てを行うのではなく、
「ここがわかると全体が見える」
「ここができると自信につながる」
ポイントを見つけて精選して行う**



「完全な理解」をねらうのではなく、 大きな目的

在籍学級での学習に参加できる力や日本語で考える力を養う
将来のキャリア形成につなげる、など

を見据えながら 柔軟に選択判断して学習を組み立てる



「教科と日本語の統合学習」 ポイント

- ①情報を分かりやすく
- ②教科学習参加のために
必要な日本語への気付き
- ③学習の見通し



①情報を分かりやすく

まずは
スモールステップで! **焦点化**

大事なポイントだけに絞って提示

30円のチョコレートと60円のチョコレートがあります。
合わせて10個買いました。510円でした。
それぞれ何個買いましたか。

①問われていることを理解

払うお金→代金
合わせて計算→合計

②原文の言葉を理解

30円のチョコレートと60円のチョコレートを合わせて
10個買ったら、代金の合計が510円でした。
30円のチョコレートと60円のチョコレートは、
それぞれ何個買いましたか。

③理解できたら原文を読み直す



①情報を分かりやすく

体験化・動作化



いつも遊んではかりの息子が、自ら進んでおつかいを手伝ってくれたことに、母は涙を流して感動した。

役割演技等、動作を交えて言葉や文への理解を促す

①情報を分かりやすく

具体→抽象

実際にやってみる ← 説明や解説

ではなく、



具体や体験 → 説明を受ける
考える

具体的 → 抽象的



→ 画家

× (教師) 「画家というのはね…」

○ (教師) 絵を提示 → (子供) 「○○だ」

→ (教師) 「この人、画家」



「教科と日本語の統合学習」 ポイント

- ①情報を分かりやすく
- ②教科学習参加のために
必要な日本語への気付き
- ③学習の見通し



教科学習参加のために必要な日本語とは

「順序立てる」

順序 順番に並べる
はじめに～ 次に～ 最後に～
など

「比較する」

比べる ～が違う どちらが～
○○より□□のほうが～
など

「分類する」

分ける 仲間 グループ 探す 集める
○○と□□は～が同じ 共通点は～
○○と□□は～が違う 違いは～
など

「関係づける」

つなげる 関係づける 理由づける
など

「推論する」

もし～ならば、～だろうと思う
おそらく(多分)～だろう
など

など、思考する際に使う言葉



②教科目標達成のための 日本語への気付き

教科学習参加のために必要な
日本語を整理しておく

「日本語」を落とし込む

活動の局面において、その状況を子供たちと

共有した後に「日本語」を伝える。 **具体→抽象**

言葉と意味が
つながった！



強調して伝える

気付かせたい「日本語」の部分だけ大きな声にしたり、

フラッシュカード等で示したりして「気付き」を促す。

そう、
「比べる」
のですね



②教科目標達成のための 日本語への気付き

教科学習参加のために必要な
日本語を整理しておく

気付いた「日本語」を使わせる

活動の局面において、その状況と照らし合わせながら「日本語」を使わせる。

学んだ日本語
で話してみよう。



間違いに暗示的に気付かせる

(例) 子供：アリとゾウ、ゾウ大きい (リキャスト)

教師：そうなんだ。ゾウはアリより大きい…のだね。

間違いを指摘することなく会話の流れを壊さない
情意的な配慮で日本語を話そうとの意欲を促すことが大切



日本語の学びに焦点を当てる

ただし、あくまで目的は「教科の学び」
日本語の学びに偏りすぎると、
焦点がぼやけることもある



教科の目標 **日本語の目標**

それぞれを明確に!



「教科と日本語の統合学習」

ポイント

- ①情報を分かりやすく
- ②教科学習参加のために
必要な日本語への気付き
- ③学習の見通し



③学習の見通し

挿絵・写真・イラスト・動画等で直感的な内容理解を促す

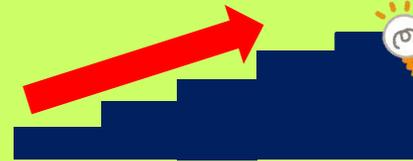
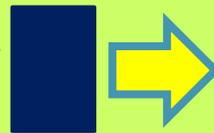
物語文の「**絵本**」の挿絵や、**1人1台端末**で検索した写真やイラスト、動画等を活用



子供の分からない言葉や内容を確認し、**理解支援**を行う

対話の中からスモールステップで発問する
学習課題に迫りながら、徐々に「発問」を**焦点化**していく
ことで、子供がポイントをしぼって思考できるように支援

理解が難しい発問
子供にとって高い壁



段階を追った
補助発問や助言で
子供の発話を促す



見通しを持たせる



学習の概要をつかませる

何を考えれば
よいのかが
分かったわ。

自信を持って
発表できそう
だぞ。

先行学習の大きな役割



あらかじめ

**学習の概要をつかんでおくことで、
在籍学級での学びの際に、頭の中で
知識や思考がつながって活性化される**



考えてみましょう



在籍学級の学びにつなげるためには…





支援から自律へ 子供たちが将来、地域の一員として主体的に生きていくことができる